

伊予銀行地域文化活動助成制度
第62回 助成団体紹介資料

2022年 11月

目 次

<中予地区>

愛媛 SGG クラブ松山支部 英語部翻訳グループ	1
田窪・宇氣洲神社獅子舞保存会	2
落合獅子舞保存会	3
御面渡御祭保存会	4
虎造節保存会	5

<東予地区>

佐方獅子保存会	6
有津獅子舞保存会	7
愛媛 SGG クラブ新居浜支部	8
新居浜市消防団 船木分団	9
若葉句会	10
玉の子文庫	11
永納山古代山城跡の会	12

<南予地区>

日土史談会	13
ウインドアンサンブル・カイツ	14
古市組獅子舞保存会	15
野村相撲呼出し保存会	16

道後支店推薦	えひめ まつやまし ぶ えいごぶほんやく 愛媛 SGG クラブ 松山 支部 英語部 翻訳 グループ	設 立	1990 (H2). 6
	グループリーダー たむら ななえ 田村 七重 氏	会員数	9 名

愛媛 SGG クラブ松山支部様は、通訳や翻訳等を通じて、県内在住の外国人や旅行者の手助けなど、国際交流推進に寄与しようと活動されています。

中でも、英語部翻訳グループ様は、伊佐庭如矢をはじめとする愛媛の偉人や、観光地・特産品を紹介するカルタや紙芝居等を作成し、外国人観光客に披露する活動に力を入れてきました。

また近年は、松山中学校で夏目漱石の2代前に英語教師を務めたアメリカ人、ヘンリー・ガブリエル・ホーキンス氏の著書「Twenty Months in Japan」を入手したことから、その翻訳作業を進めてきました。

本書には、町や学校の様子、人々の暮らしぶりや日本文化が、辛口の表現も交えながら生き生きと描かれており、当時の様子がわかる貴重な歴史資料です。紀行文としても素晴らしく、今年中に翻訳本を発行し、学校や図書館等への配布を計画しています。

七 外国人の日本での暮らし

松山―十一月二十五日―前回、箸を試した時、自分でも驚くほどうまく使えた。実践あるのみである。空腹らしき中国人や日本人がご飯を食べる姿はとも目を引くが、数百人の生徒を連れて先生方と一緒に外国人が住むことがなかった町へ出掛けた時、私のナイフとフォークを使う姿は、人々の笑いを誘った。もちろん、外国人が日本人を訪ねる時は、できるだけ「日本人」のようにふるまうのが当然だろうが、自分の家では玄関で靴を脱いでスリッパを履くこと以外は、アメリカにいる時と同じようにふるまえる。ここ松山の、快適な二階建ての家を想像してもらいたい。二階には二部屋があり、一つは寝室、もう一つは書斎。一階にはいくつかの小部屋があり、そのうちの二つは居間と応接室として使っている。また別の部屋には二人の元気な男子学生が住みこんでいて、私の用事をいつでも受けてくれるのだが、私たちの使う言語が著しく異なるため、時にはそれが難しいこともある。

これらに加えて、快適なバスルーム、伝統的日本庭園が二か所、そのうちの二つには金魚がいる小さな池もある。その他必要な備品が手元に、かつ便利に置かれている。これで私の居場所を想像してもらえらると思う。二フロク先にはモーズリー氏の家があり、そこで私は食事をとり、さらに二フロク先には学校の校舎があり、そこで私は優秀な若者たちと朝の時間を過ごす。モーズリー氏と奥さんはまだ有馬から帰っておらず、地元の女学校で教えているミス・ガソンは数日留守にしているので、この辺りでは外国人は私一



編訳本準備稿抜粋

横河原支店推薦	たのくぼ う き す じん じゃ し し ま い ほ ぞ ん か い 田窪・宇氣洲神社獅子舞保存会	設 立	1955(S30).10
	宇氣洲会副会長 <small>こづつみ けん</small> 小堤 健 氏(ご出席:総代会長 <small>たけち やすのり</small> 武智 保則 氏)	会 員 数	55 名

田窪・宇氣洲神社獅子舞保存会様は、東温市田窪地区に伝わる獅子舞を保存継承されています。起源は定かではありませんが、明治時代に久万高原町の直瀬・畑野川地区から伝来したとされ、毎年、秋祭りで宇氣洲神社に奉納されています。

東温市でも最も動きが激しい荒獅子で、おやじ・おたふく・猿も登場し、春の種蒔きから秋の収穫まで、自然と人の営み、子孫繁栄を表現し、家内安全を祈願します。

5つある演目の内、現在は「四天」「三番叟」「舞切り」の3つが踊られており、「三番叟」では烏帽子を被った子供が獅子の背中に乗って登場し、獅子との掛け合いを繰り広げます。

「舞切」は飛んだり跳ねたり激しく動く演目で、「舞切を踊り切れたら一人前」と言われており、今後も後継者対策をしながら、伝統の獅子舞を繋いでいきます。



久万支店推薦	おちあいししまいほぞんかい 落合獅子舞保存会	設 立	1960(S35).9
	会長 <small>やまもと</small> 山本 <small>すすむ</small> 進 氏	会員数	30名

落合獅子舞保存会様は、久万高原町落合地区に伝わる獅子舞を保存伝承されています。

起源は定かではありませんが、旧美川村大川地区の獅子舞に同じ演目や似た所作があり、何らかの繋がりがあったと思われます。

戦争で一時途絶えましたが、1960年に有志が復活させ、毎年秋祭りで八幡神社に奉納される他、御旅所や公民館等で披露しています。

荒々しい雄獅子が田畑を荒らして農民を困らせますが、獵師と格闘の末、最後には仕留められるお話で、「三番叟」「足こぎ」「芋ほり」「とてん」等8つの演目があり、中でも「とらまか」は、途中で休憩を挟むほどハードな演目です。

演目の体力がいる舞手は中学生以上が担当しますが、いずれはやってみたいという意欲的な小学生も多く、手作りの獅子頭を使って熱心に練習しています。



牛淵支店推薦	ごめんときよさいほぞんかい 御面 渡御 祭 保存会
	会長 <small>あいばら</small> 相原 <small>むねまさ</small> 宗正 氏

設 立	1722.5
会員数	24名

御面渡御祭保存会様は、東温市の浮嶋神社と徳威三島宮の両神社で、ご神体の三面の御面を受け渡しする「御面渡御祭」を保存継承されています。

御面は、鎌倉時代から室町時代の作と言われ、美術工芸的にも大変優れた作品で、東温市の有形文化財に指定されています。

かつて松山藩が干ばつに見舞われた際、雨ごい行事に用いられたことから「雨乞い三面」とも呼ばれており、毎年12月に唐櫃に納められ、宮司や保存会会員らが付き添い、約1キロ離れた渡御先の神社に渡されます。

江戸時代に両神社間で面の所有権を巡る争いが起きたため、1732年に松山藩の寺社奉行が、両神社で交互に祭るよう定めた裁定に従い、現在に至る約300年続いている全国的にも大変珍しい行事です。



日吉支店推薦	とらぞうぶしほぞんかい 虎造節保存会	設立	2009(H21).1
	理事長 <small>やぎ たけし</small> 八木 健 氏	会員数	20名

虎造節保存会様は、かつて絶大な人気を誇った浪曲師 2代目 廣澤虎造の芸を中心に、浪曲を継承しようと設立されました。

浪曲は明治時代初期から始まり、最盛期の昭和初期には全国で3千人もの浪曲師がいました。中でも2代目 廣澤虎造の芸は「虎造節」と呼ばれ、「話芸の至宝」と賞され、絶大な人気を博していました。会では優秀な後継者を発掘しようと、東京浅草の木馬亭(日本唯一の浪曲専門会場)にて定期的な「全国大会」開催している他、県内でも全国大会上位入賞者による「名演会」、会員の発表会を定期開催しています。また、新作にも取り組み、これまで「廣澤虎造伝」「清水次郎長伝」「子規の生涯・前編」を発表しました。

来年5月27日(土)には、松山市民会館小ホールにて、虎造60回忌 記念公演「虎造節・第7回名演会～弘法大師・空海 生誕1250年記念大会～」を開催予定です。



第十回 虎造節全国大会

日時：令和4年
11月12日(土)
午後1時～(開場12時30分～)

会場：東京 浅草・木馬亭
(東京都台東区浅草2-7-5)

主催：虎造節保存会

～「寿司食いねえ」「馬鹿は死ななきゃ治らぬい」～

ご存知、廣澤虎造は没後60年になろうとする今もお酒曲ファンを魅了し続けています。虎造節を誇る「声自慢、節自慢」が全国から浅草・木馬亭に大集合。虎造節日本一を競います。また、これまでの大会で日本一になった名人の口演もお楽しみください。

出場者募集!

審査員

東家 三葉 (日本浪曲協会会長)	港家小橋丸 (日本浪曲協会理事)
竹内 実 (元NHKプロデューサー)	秋山 隆 (元NHKアナウンサー)
広沢 虎仁 (第二回虎造節全国大会優勝)	広沢 虎松 (第六回虎造節全国大会優勝)
広沢 虎丸 (第八回虎造節全国大会優勝)	米田 順哉 (第九回虎造節全国大会優勝)
八木 健 (虎造節保存会創立名誉会長)	

曲師 伊丹 明 (日本浪曲協会)

大会出場費：2万円 (審査料、大会DVD送料、税込)

観覧料：事前予約 1,500円/当日 2,000円

*出場の申し込みおよび観覧の事前予約の受付は、9月1日から11月10日午後5時まで、虎造節保存会に、電話もしくはメールでご連絡ください。

*虎造節であれば演目は自由。一人10分一本勝負。8名まで。

*虎造節を保存、継承したいという当会の主旨に賛同し、一緒に活動して下さる方のご参加をお待ちしています。年齢、性別、経験など不問。

*プロダクションに所属するなど、プロとして活動している方は不可。

*優勝者副賞：馬鹿は死ななきゃ治る米

お問合せ・申し込み

〒791-2103 愛媛県伊予郡越前町高尾田1173-4
ホームページ：「虎造節保存会」で検索可
メールアドレス：torazoubushihozonkai@yahoo.co.jp
電話：090-8287-1390

菊間支店推薦	さがたししほぞんかい 佐方獅子保存会	設立	2004(H16).4
	会長 ながの たつじ 氏 長野 辰次 氏	会員数	23名

佐方獅子保存会様は、菊間町佐方地区に伝わる継獅子を保存伝承されています。

毎年、亀山八幡神社の秋祭りで奉納される他、公民館の芸能発表会でも披露しています。

演目は、おかま・三番叟・二継・滑稽・三継など7つで、全て演じると1時間半程かかります。

特徴的な演目の一つ「味噌」は、2人の村人が味噌を搗って獅子にふるまった後、搗粉木に付いた味噌を取り合う滑稽な演目です。また「二継」は女獅子の継獅子で、化粧を施し獅子頭を被った青年が、台役の上で約15分にわたり、様々な小道具を用いて演技するもので、獅子が鏡を見て化粧する仕草もあります。

最大の見せ場は、昇り獅子と言われる「三継ぎ」で、獅子頭を付けた子供が台役の肩に乗って演技し、最後には頭の上に立ち上がると、観衆の盛り上がりも最高潮に達します。



伯方支店推薦	あろうづししまいほぞんかい 有津獅子舞保存会	設立	1973(S48).7
	会長 <small>むらかみ</small> 村上 <small>はやと</small> 隼 氏	会員数	12名

有津獅子舞保存会様は、今治市伯方町有津地区に伝わる獅子舞を保存継承されています。

起源は定かではありませんが、江戸時代に伝わったとされ、戦争で一時中断しましたが、1965年に地元青年団が、同じ伯方町の枝越獅子舞を習い復活させました。

雄獅子で、躍動感あふれる派手な動きが特徴であり、毎年秋祭りで奥坂神社に奉納される他、集会所や祝い事があった家々を廻ります。

獅子を操る子役は、「三番叟」「獅子止め」と呼ばれ、源義経、武蔵坊弁慶に似せた装束と化粧が施され、華やかな子役と迫力ある獅子舞は、昔から人気を博してきました。

重厚な作りの獅子頭を操り、まるで生きているかのように勢いある獅子に見せるのが腕の見せ所であり、今後も若手が中心となって、伝統の継獅子を伝えていきます。



新居浜支店推薦	えひめ にいはましぶ 愛媛 SGG クラブ 新居浜 支部	設 立	1991 (H3). 4
	おおかめ やすみ 会長 大亀 安美 氏 (ご出席: 副会長 かいだ かずこ 戒田 和子 氏)	会員数	30 名

愛媛 SGG クラブ新居浜支部様は、英字新聞の発行や通訳等による外国人への生活支援や、ホームステイの受け入れ、英会話教室の開催など、幅広い活動をされています。

外国人との交流活動として、毎年開催している「グローバル・パーティ」では、各国の文化を紹介するブースが多数設けられ、外国人が自国の踊りや衣装をステージで披露しています。

その他、日本をより深く知ってもらおうと、地域団体や学生が企画した催しが多数行われており、東予在住の外国人や留学生を中心に、毎年数百名が参加しています。

来年2月に開催する予定の「グローバル・パーティ」では、全国の高校生が地域の観光プランを競い合う「観光甲子園」で日本一に輝いた、愛媛県立 土居高等学校の「インバウンド盆栽ツアー」を紹介する特別ブースも設営する予定です。



新居浜支店推薦	にい は ま し し ょ う ぼ う だ ん ふ な き ぶ ん だ ん 新居浜市消防団 船木分団	設 立	1970(S45).4
	分団長 鴻上 哲郎 氏	会 員 数	55 名

新居浜市消防団 船木分団様は、新居浜市船木地区に伝わる梯子乗りの技を保存継承されています。梯子乗りの歴史は古く、江戸時代に町火消しが誕生し、若者が梯子を登って火災の方向を見定めたことが始まりと言われていいます。東京や神奈川では無形文化財にも指定されている団体もあり、船木分団も80年以上の歴史を有します。

梯子乗りは、高さ6.5mの2つの梯子を12本の鳶口で支え、揺れる不安定な先端で、2名が息の合った妙技を披露します。遠見、腹亀、肝潰し、谷覗き、横大の字など数多くの技があり、演技者と、下で支える団員達との呼吸の合わせ方が重要で、熟練の技が必要であり、団員の固い結束が妙技を生み出しています。

コロナ禍でしばらく活動を休止していましたが、来年3月の「消防観閲式」では久々に演技を披露する予定です。

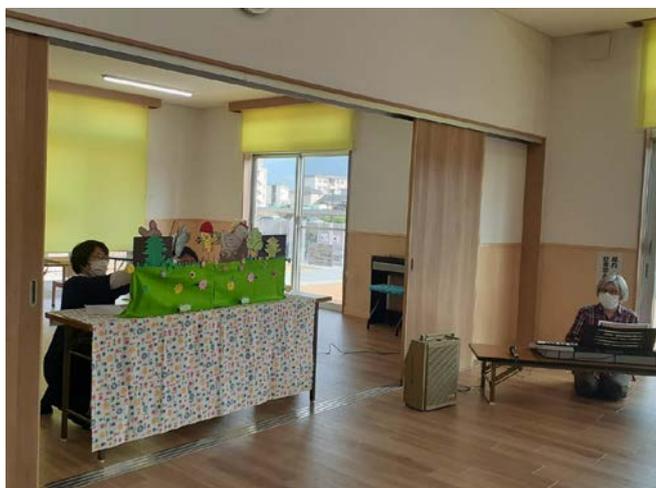


西条支店推薦	たまこぶんこ 玉の子文庫	設立	2000 (H12). 11
	代表 一色朝美氏 (ご出席:代表代理 松本裕子氏)	会員数	36名

玉の子文庫様は、2000年が「子供読書年」に制定されたことを受け、西条市立玉津小学校の児童に読み聞かせを行う団体として、保護者らにより設立されました。

子供の卒業後も活動続ける会員が多く、現在は30歳代から60歳代まで幅広い世代が、交流しながら活動を行い、内容も読み聞かせだけでなく、人形劇やパネルシアター、お話会など幅をひろげています。玉津小学校の他、公民館や児童館、児童クラブ等での活動を通じて、教科書以外の楽しい本との出会いを作り、読書の楽しさを、より多くの人々に知ってもらいたいと、様々な工夫をこらして活動しています。

また、「こどものとも社」の協力で、絵本やキャラクターグッズ等を文化祭で販売する「1日絵本やさん」を開催し、それらの収益等で新しい本を購入して、小学校に寄贈する活動も続けています。



壬生川支店推薦	えいのうざんこだいさんじょうあと かい 永納山 古代山城跡の会
	もりかわ まもる 会長 森川 護 氏

設立	2005(H17).5
会員数	101名

永納山古代山城跡の会様は、西条市北部に位置する永納山古代山城の保全と、歴史継承を目的に、楠河地区の住民が中心となって設立されました。

中世に造られた山城は、県内だけでも1,200ヶ所程ありますが、古代山城は全国でも25ヶ所しか発見されておらず、貴重なものとして2005年に国史跡に指定されました。

会では、西条市教育委員会とも連携しながら、歴史に関する講演会や登山会、植樹などの城跡保護活動を行っています。

また、山頂からは石鎚山や来島海峡大橋、遠くは香川県まで見渡せ、山ツツジが咲く登山道など家族連れでも楽しめることから、公民館行事などで、手作りのジオラマや土塁の立体模型、パネル展示を行い、古代ロマンあふれる山城を県内外に広くアピールして、地域活性化にも取り組んでいます。



八幡浜支店推薦	ひづちしだんかい 日土史談会
	会長 矢野 修 氏 (ご出席: 事務局長 清水 真一 氏)

設立	1983(S57).5
会員数	16名

日土史談会様は、八幡浜市日土町の歴史を調査研究し、後世へ伝えていくことを目的に設立されました。一時活動が停滞していましたが、2007年に日土東史談会と合併し、新生 日土史談会として再始動し、現在に至っています。

年4回の例会では、会員各自が取り組んできた研究発表や、講師を招いての講話を実施。

2007年11月からは毎月、日土公民館報に「日土史談会便り」を寄稿し、今年で掲載180回を数えるまでとなりました。

史談会便りでは、江戸時代から近世まで様々な時代を取り上げ、最近では、昭和30年代から昭和50年代にかけて賑わっていた地元商店街の様子や、日土東小学校を設計した建築家 木村保一、江戸時代の日土地区に関する内容を掲載しています。

貴重な地域の歴史をまとめた「史談会だより」は、今年度中に175回分を製本化し、八幡浜市内の学校や図書館等に広く配布する予定です



第324号 報 報 ひづち 令和4年8月20日 (4)

日土史談会便り (179)

「日土東地区の歴史」(3) 日土史談会 清水真一

(4) 日土東小学校の建設

日土谷の教育史は、金山出の医王寺の神官・僧侶が寺子屋を開いた記録がある。安政元年(1850)年には、喜木村の御神屋の扶で元大洲藩士の曾根雲山が塾を開いている。こへは兵頭庄屋の子孫たち日土村の子も通っていた。

明治5(1872)年に入ってから「小学校令」を出して、全国に小学校の建設を指示する。八幡浜では埋立地に「神山学校」と、翌年に喜木の「第47番校」が開校したにとどまる。

日土谷では、明治9(1876)年に啓蒙小学校が出る。2年後には7つの分校が出るが、その一つが福岡の地にも建つ。同日(1884)年分校を廃止し、

新道小学校として発足、11年後には新校舎を落成した。JA西宇和・日土新道事業所の南側である。これが同42(1908)年にはまた分校となり、翌年本校の分校の建設の現在地に建つたのである。

昭和26(1951)年になって尾分興佐賀岡町の太田信詰工場土蔵の設計など初期のものから、昭和26年の尾分分校舎迄数多く残っているが、太田土蔵は国登録文化財の指定を受けている。また旧日土東小学校舎は地元の方々の努力により、今「やま」となっており、民間活用がなされている。その他宮内尋常小学校や日土尋常小講堂などがある。

・木村保一 八幡浜市内には、平成24(2012)年に国指定重要文化財となつた、日土小学校を設計した松村正恒(大洲市新谷出身)の建築物がある。ほぼ同時期に、同じ舞台で活躍した設計士が木村保一であった。共に前半部分は公的建築物で、後半部分には民間建築物も多く設計している。

彼らの作品は、明治41年作の大分興佐賀岡町の太田信詰工場土蔵の設計など初期のものから、昭和26年の尾分分校舎迄数多く残っているが、太田土蔵は国登録文化財の指定を受けている。また旧日土東小学校舎は地元の方々の努力により、今「やま」となっており、民間活用がなされている。その他宮内尋常小学校や日土尋常小講堂などがある。

・木村保一 八幡浜市内には、平成24(2012)年に国指定重要文化財となつた、日土小学校を設計した松村正恒(大洲市新谷出身)の建築物がある。ほぼ同時期に、同じ舞台で活躍した設計士が木村保一であった。共に前半部分は公的建築物で、後半部分には民間建築物も多く設計している。

写真 旧日土東小学校
編集後記は3面に移動しました。()

内子支店推薦	ウインドアンサンブル・カイツ	設立	2009(H21).4
	団長 <small>しんもと</small> 新本 <small>くにひこ</small> 邦彦 氏	会員数	39名

ウインドアンサンブル・カイツ様は、内子町を中心とした吹奏楽愛好家らにより、2009年に設立されました。

全日本吹奏楽連盟 四国支部 谷口理事長の指導のもと、毎週1回練習を重ね、五十崎自治センターで毎年定期演奏会を開催している他、ソロやアンサンブル中心の演奏会「カイツの夕べ」を、年数回開催。昨年は、全日本吹奏楽コンクールにも初出場しました。

レパートリーは、セレモニアル・マーチ等、吹奏楽でお馴染みの曲から、クラシック、ポップスまで幅広く、演奏会では誰でも楽しめるよう、偏りがない選曲を心がけています。

内子町主催の地域イベントに多数参加しているほか、近隣の中学校・高等学校 吹奏楽部の指導にも協力しており、学生も参加できる演奏会を年2回開催して、大人数の編成を組むことが難しい学生達に貴重な発表の場を提供するなど、地域の音楽文化向上に大きく貢献しています。



野村支店推薦	ふるいちぐみししまいほぞんかい 古市組獅子舞保存会
	会長 <small>まつもと</small> 松本 <small>なおみつ</small> 直光 氏

設立	1975(S50)
会員数	10名

古市組獅子舞保存会様は、野村町古市地区に伝わる獅子舞を保存継承されています。

毎年、三嶋神社の秋祭りで奉納されたのち、1日かけて町内50~60軒の家々を廻ります。

獅子は、太鼓の音と共にどこからともなく現れ、まずゴザの上に座り、ゆっくりと舞いはじめます。次第にテンポが速くなるにつれ、中腰となり、最後には立ち上がって激しく舞い、横に噛みつくような仕草を見せながら、クライマックスを迎えます。

舞い終わると、観客の間を抜けて、どこへともなく去ってゆきますが、これは、姿を消しても神社の狛犬と同じく、守護の任についていることを表していると言われています。

古市地区は10軒程の小さな集落ですが、野村唯一の獅子舞の伝統を絶やすまいと、地域一丸となって継承活動に取り組んでいます。



野村支店推薦	のむらすもうよびだしほぞんかい 野村 相撲 呼出し 保存会	設 立	1999(H11). 12
	ひょうどう たけき 代表 兵頭 猛希 氏(ご出席:副会長 たにもと ひでき 谷本 英樹 氏)	会員数	11名

野村相撲呼出し保存会様は、毎年開催される、地域最大の行事「乙亥相撲」で「呼出し」を務める方々の団体です。

「呼出し」は、取組みの際、力士の名前を呼ぶ「呼び上げ」を行うだけでなく、取組後に土俵に撒かれた塩の掃除や、土俵外側に砂を敷く「蛇の目」を作るなど、土俵整備も担当しています。

乙亥相撲には、もともと「呼出し」の習慣はありませんでしたが、平成始め頃、個人の方がボランティアで活動を始め、その方の引退を機に保存会が結成され、今では乙亥相撲に欠かせない存在となりました。

活動の中心は「乙亥相撲」ですが、年に十数回、宮相撲などの地域行事に参加しており、乙亥太鼓や、相撲甚句の保存会とも連携しながら、地域行事の盛り上げに大きく貢献しています。

